

チーム名	景観設計学研究室	大学・学部	京都大学大学院 工学研究科	インフラツーリズム ステージ
プラン名称	くみやま くるくる アグリパーク ー久御山らしさを実感する地域交流の場ー			
リーダー名	畠田 恵	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 (○) ①公共インフラを新たな視点で大胆に活用した「観光まちづくりプラン」 ( ) ②歴史的インフラ(遺構)を活用した「観光まちづくりプラン」	事務局記入欄
指導教職員名	山口 敬太			
メンバー名	寺島健、谷川陸、石山元基、朱豊、諏訪淑也			

## くみやま くるくる アグリパーク

久御山らしさを実感する地域交流の場

### 久御山町のいま

#### 人口減少と観光客の減少

久御山町は周辺地域に比べ、観光入込客数、観光消費額ともに最低水準である。

#### 大規模商業施設の利用集中

イオンモール久御山は年間来店客数500万人規模。しかし、利用客はイオンにしか立ち寄らず、地域への経済波及効果が十分でない。

#### 未利用地の存在

イオンモール久御山の南に土地区画整理をした土地があるが、(南大内地区:5.2ha)事業計画がとまっており、未利用のままである。

#### 子供の遊び場、自然とふれあう場の不足

子育て世代が子供を遊ばせる場所がない。公園も貧相で、工業労働者が農や自然に触れる場が少なく、まちに若者が好むオシャレスポットがない。

### これからの可能性

#### インフラ資源(ジャンクション)

普段は高速道路網を支えるジャンクション。見方を変えると作品にもなりうる可能性を秘めている。高速道路のジャンクションは巨大な構造物が絡み合う複雑な構造によるダイナミックさが特徴で、さまざまな角度から見てみるとその面白さをより実感できる。

また、交通拠点としてのアクセスの利便性から日常的に利用してもらえるポテンシャルがある。

#### 農業

まちの土地の約半分が農地であり、土質が優良で野菜の「苗処」として有名である。平野に広がる畑には九条ねぎ・小松菜をはじめ季節の野菜が多く栽培されている。

#### 東側の山並み

久御山町域は全体的に、巨椋池を干拓してできた平地である。遠方には喜撰山・大峰山などが連なって見え、自然景観を楽しむことができる。



### まちづくりプラン

#### 文化資源の「見える化」

- 久御山JCTへの視点場を設けることで観光資源として活用する。また、夜にはライトアップを行い多様な雰囲気を楽しむスポットに。  
- 田(約26万㎡)の一部を畑に変え、野菜を栽培できる市民農園を設置する。JCT側に芝生広場(約6千㎡)を写真スポットとして整備し畑のファーマーズマーケットでは新鮮な野菜を購入できるように。

文化資源の見える化によって地域の価値を住民が再認識することができる

- 道の駅からレンタサイクルを貸出する。整備された緑道で、時には休憩しながら自然を感じる。
- 駐車場を北側につくり、車のアクセスを確保する。
- 未利用地ではイベント時に屋台や久御山写真コンテスト会場を設置し、他地域へ魅力をつなげる拠点とする。

歴史的町並みが残る東一口地域の観光への波及効果が期待できる。ジャンクションの構造と広大な畑で久御山らしさを感じながら様々な土地は結ばれる。

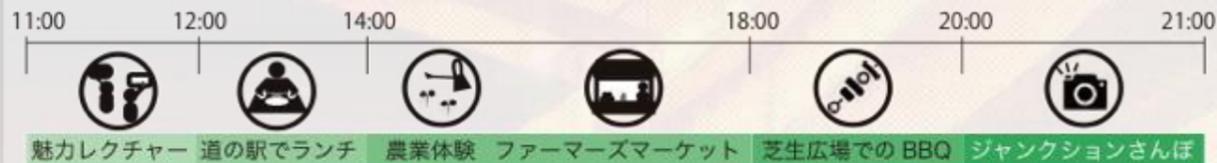
#### 地域交流の「見える化」

- 周辺農家が集まり市民農園の指導を副業として行い、市民や観光客と農家のコミュニケーションを促す。それは久御山の野菜プロモーションの機会にもつながる。  
- 道の駅にはレストランや宿泊施設、イベント会場をつくり、地域交流の拠点にする。

地域交流の見える化によって地域への愛着を住民や観光客が持つようになる



#### あるグループの観光スケジュール



- 道の駅レストラン**  
地域の新鮮な野菜取り入れた地産地消メニューを提供する
- 貸し農園**  
家族で、友達グループで楽しめる! / 雄大な自然に囲まれた市民農園で、自分で野菜を育てることができる。周辺の農家の方からの栽培講習会も定期的に開催するため、初めての人でも気軽に都会に住みながら農業体験をすることができる。

- ファーマーズマーケット**  
久御山フードが盛りだくさん! / 京野菜・果物・米など、鮮度と味にこだわった選りすぐりの農産物が購入できる。

- 芝生広場**  
広場からは久御山の大自然とジャンクションを一望できる。素晴らしい風景の中で食べる新鮮な野菜をつかって、BBQをすることもできる。

#### 経済効果

市民農園 (年間)	50人 x 50000円
イベント (年10回)	1000人 x 10回 x 2000円
レンタサイクル、レストラン等	5000人 x 2000円
久御山みりょく堪能ツアー	50人 x 100日 x 4000円
合計	年間約 5250万円
道の駅工事費	2000万円
芝生化、畑化工事	2000万円
維持経費	100万円

### Before After



地域交流と文化資源の「見える化」によりいきいき暮らせるまちに



**アグリパークとは?**  
農業を学び、体験する場を提供するファーム。教育機関向け、一般向け、就農向けと幅広い年齢層に向けたプログラムを提供する。